

# 小須戸町の家計簿！

## 財政事情の公表 55年度決算分

前号では一般会計を掲載いたしましたが、今月号は特別会計について公表いたします

### 水道会計

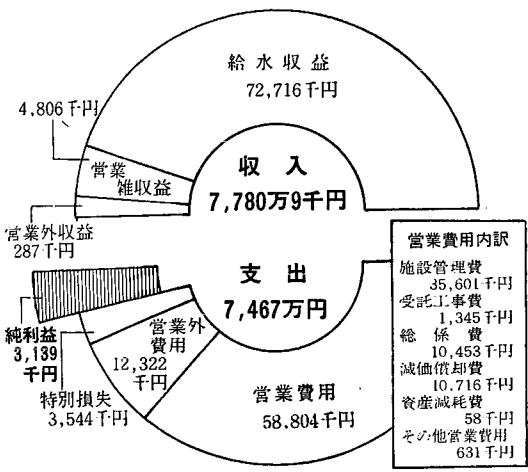
昭和五十五年度の給水状況は、水道の最盛期である夏場の低温と、厳しい寒さがなかった冬などの気象条件と、給水件数も新設件数が十五件で例年に比べ低調であったことにより、前年度より一万三千九百六十六立方分(対前年比一・六%)の微増に止まり、年間給水量は八十八万六千九百六十六立方分でした。

有収率では、下水道工事等による水道本支管の切断、仮設配管、本復旧等で多量の流出水のため、八三・八七%となり、前年度より一・七%下回りました。

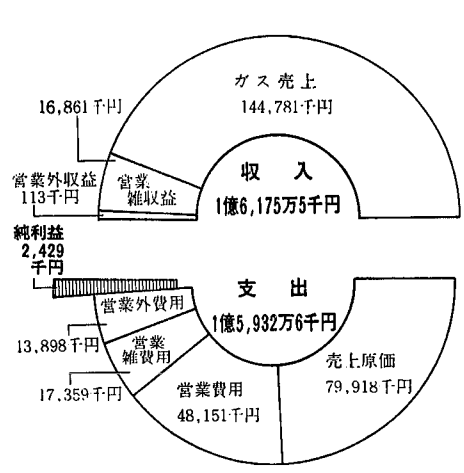
損益勘定では、収益総額七千七百八十九万九千円、費用総額七千四百六十七万円で差引三千三百二十二万九千円の純利益を生じました。

建設改良事業では、配水管の口径増及び道路改良に伴う配水管布設工事(一、六二〇米)を一六六万九千円の工事費と、貯蔵材料引当金四十八万九千円で実施し、また、第

### 水道会計



### ガス会計



五十四年度下期に原ガス価格が引上げられ、販売ガス料金の改訂が行われましたが、五十五年度は、その平年度化の年でした。

総売上量は百七十五万八千六百五十五立方分米で、前年度より八万八千四百八十八立方分(五・三%)増加し、ガス供給件数も前年度より十一件増の二千五百五件となりました。

総収益一億六千七百七十五万四千円(前年度比二〇・九五%増)、総費用一億五千九百三十二万五千円(前年度比一

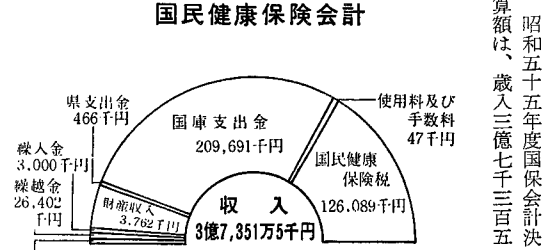
六・八三%増)となり、二百四十二万九千円の純利益を生じましたが、前年度繰越損失百七十一万七千円を処分しても、七十二万二千円の未処分利益金を計上しました。

建設改良事業として、山の手地区の供給改善として中庄管の布設ルートの変更を、延長一、六三二米、工事費一千五百円で、その他低圧管の増径で七七八米を工事費及び材料共で一、千二百三十三万九千円で供給改善工事を施工しました。

### ガス会計



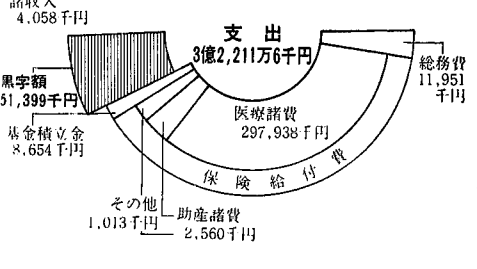
### 国民健康保険会計



昭和五十五年度国保会計決算額は、歳入三億七千三百五十一万五千円、歳出三億二千二百一十一万六千円となり、差引き五千三百三十九万九千円の黒字決算となりました。

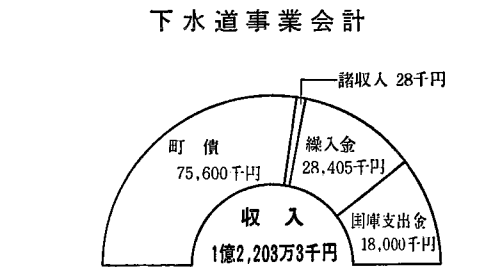
また、国民健康保険加入世帯は一、千一百十三世帯、被保険者数三千七百六十八人でした

### 下水道事業会計



事業費が五千五百八十七万七千円、流域下水道事業費六千四百九十七万八千円となっており、

### 農業共済事業会計



事業費が五千五百八十七万七千円、流域下水道事業費六千四百九十七万八千円となっており、

### お互いの人権守って 住みよい社会

今年も人権週間が十二月四日から十日まで実施されます。日頃次のようなことでおこまりの方はご相談ください。秘密は守られ無料です。

この週間は全国的に行なわれ人権意識を高めるために実施されます。

●子供や老人の虐待  
●うわさ等により名誉や信用を失なうこと。

●仲間はずれや、不当な差別  
●騒音、悪臭、震動。  
●借地借家、金銭、家庭問題等。

新潟地方方法務局人権擁護課  
電話(〇五三)三一五一(一)

小須戸町人権擁護委員  
五十嵐義成、海津仁太郎

相談日 十二月十八日(金)  
午前9時30分  
午後12時まで

会場 中央公民館二階  
相談員 古川兵衛弁護士  
○申込みは前日までに住民係へ電話をお願いします。  
○申込み人数により、時間を変更することがあります。

### 無料法律相談

### 昭和56年度 工業統計調査 工業実態基本調査

製造業の皆さん、通商産業省では昭和五十六年十二月三十一日現在で、昭和五十六年工業統計調査を実施します。この調査は、製造業を営む事業所を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額、有形固定資産額などを調査し、工業の事態を明らかにすることを目的としています。

この統計調査の結果は、例えば、都市開発や下水道整備計画の立案に利用された、また、みなさんが各種製品の生産、販売計画をたてる場合の参考にもなるなど、生活と調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票に記載された内容は、外部にはお出しませんので安心してご記入ください。

深い関係があります。また、本年は工業実態基本調査が行われます。この調査は企業の実際の姿について正しい資料を集めることを目的としたものであり、中小企業の経営の安定を図り、国の経済を健全に発展させるためぜひとも必要なものです。

調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。

また、本年は工業実態基本調査が行われます。この調査は企業の実際の姿について正しい資料を集めることを目的としたものであり、中小企業の経営の安定を図り、国の経済を健全に発展させるためぜひとも必要なものです。

調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。

### ご協力を

### みんなそろって明るなお正月を



「歳末たすけあい運動」  
にご協力を  
12月1日~25日